



社会参加委員会便り

No.18

名古屋市高年大学 「鯨城学園」 学生協議会
社会参加委員会
(名古屋市中区栄1 - 23 - 13鯨城学園内)

日ごろは社会参加委員会の活動にご協力いただき有難うございます。今回は、社会参加委員会が計画し実施できた全ボランティア活動(昨年3月のウィメンズ・マラソン含む)と社会参加委員会に参加したことで、意欲的にボランティアに取り組まれている方の活動を紹介します。

◇ 「さつま芋の贈呈プロジェクト」

32期 園芸専攻 佐藤 嘉則

10月27日(金)、毎年恒例の市内10カ所の福祉施設に、サツマ芋を贈呈するプロジェクトに参加致しました。今年は31期が主体となり、杉本哲夫氏と私の32期は、オブザーバーの形で参加でした。昭和区内の南山寮と駒方寮の二カ所に参り、皆が総力で取り組み、大切に育て収穫し選別し、箱詰めした20kgを超えるサツマ芋とサト芋を贈呈し、懇談することもできました。クラス仲間に依頼されたマジックショーを実現するための交渉も致しました。寮生活をしている児童生徒との出会いもあり、皆に大変喜んでもらいました。私自身も貴重な体験を積むことができ、大変感謝しています。その後、28期園芸クラス出身の方に会う機会もあり、当時は、サツマ芋の貰い手が少なく、ご近所に差し上げたり、農園に通うバスの運転手に無理に押し付けたりしたようで、今昔の感もひとしおです。

◇ 「堀川沿いの清掃に参加して」

32期 美術専攻 間部 みち子

ボランティアデビューの11月4日、集合場所に向かう早朝より、地下鉄黒川駅近くの街路樹の周辺を、すでに草を抜いたり、ゴミ拾いをする人達に出会いました。今日は市内一斉の清掃日なのかと思い乍ら、私共、美術クラスの拠点地である尾頭橋に着くと、多くの人の流れがあり、沢山のボランティアが参加かと思いきや、馬券売り場に行く人達との事で勘違いでした。さて堀川沿いを後方から出発したせいか、ゴミも余り無く、ウォーキングをしている様でした。今、色々なかたちのボランティアが、話題に上るようになりましたが、うちの近くの小学校の廻りの掃除を何年も続けている人が居ます。その方の継続力の凄さと、ゴミの多さにいつも感心して居ました。これこそ自発的に行われる、尊いボランティアと言えるでしょう。この学園に入り、他人事で有ったボランティア活動に参加する機会を与えられた事や、社会参加への第一歩を踏み出せた事に、感謝致します。



◇ 地域で活かそう鯨城の輪と力 31期 生活専攻 A 奥野 幸泰

六十歳からの学び・仲間づくり・社会参加のフレーズに共鳴。ボランティア経験には乏しく、関心も薄かったが、地域で役立つ事を見つけないとチャレンジ。クラス社参委員としてスタートしたものの、入学後は体育祭～文化祭と慌ただしく過ぎ、余裕のない日々であった。しかし、初心を忘れずサポートの皆さんや社参委員とで何か全員で出来ることはないか？と話し合いを続けました。

- ① クラス全員参加での活動
- ② 卒業まで継続してできること
- ③ 日常生活のなかで無理なくできること

を基本に検討し、文化祭終了後のタイミングを見計らって活動を提案。そして、自分達に出来る範囲での参加を呼びかけました。一年余り続けた活動結果は次の通りです。

① 熊本地震義援金 11,831円、② 使用済切手等(含未使用) 552枚、③ 書き損じハガキ(含未使用) 51枚、④ ベルマーク運動 1521点、⑤ 円・緑募金、34,598円 ⑥ エコキャップ運動 4,429個、少しの関心を持ち、全員が協力することによって、微力ながら社会貢献に繋げる事ができたと思います。又、協議会・社参委員会では、新しい試みとしてフードドライブ活動を行う予定です。周りには様々な活動をしている方や、支援を必要とする方が大勢います。見ているだけではなく、一歩踏み出すことによって繋がっていきます。人生での学びや経験を活かし、他人事ではなく、自分事・感謝の気持ちを行動に移して輪を広げ、地域社会の力になりたいものです。

◇ 藤前干潟清掃ボランティアに参加して 31期 美術専攻 波多野 美津子

鯨城学園の玄関前に集合して目的地までバスで向かった。天気は良く活動しやすい日和でした。クラスメイト9名で互いに回収袋と箸を持ち、海岸のテトラポットの間からゴミを探し当てて袋に入れた。私は当然ものすごく汚れた海岸だと想像していましたが、そんなにゴミもなく、収穫は半分位でした。藤前干潟の先に広がる海の景色を眺めながら作業が出来ました。このような活動は、もっと色々なポイント(場所)で実行されると、住み良い街づくりの意識を高めていくことにもなり、環境汚染を留め鎖すことになると思います。市民感覚でこのような活動を進めて、海や森や川を大切にす市民意識を持っている人が多くなることも必要ですね。社会参加をしながら、ゴミ一つでも意識を持てる人間になりたい、と今回の活動を通して思いました。

◇ 「ウイメンズマラソン」ボランティアに参加して 31期 陶芸専攻 飯田 啓子

平成29年3月12日、春も近いというのに早朝八時の集合は寒かった。皆さんの足を引張らないよう防寒対策をバッチリ。沿道からの進入を防ぐ境界線の設置作業。風が強く思うように進まない。何とか無事完了。十一時を過ぎた頃、パーレーンのキロワ選手が、すぐ後に安藤友香選手、そして、清田真央選手と続く。思わず頑張ると声が出てしまった。次々と選手が通り過ぎ、後半になると一般参加の方達でしょうか、皆さん思い思いの格好で、まるで仮装大会？テレビ中継では観られない一面でした。二万人近い参加者、殆どの方が完走されたようです。私自身も一緒に走ったような気分です。(一キロも走れませんが・・・)人生、初ボランティア、とても楽しい一日でした。このような機会を与えていただき、ありがとうございました。今年も参戦します。今から楽しみです。

◇ 今後の全学対象ボランティア活動の予定 ◇

- ・ 3/11(日) 名古屋ウイメンズマラソンボランティア

